

甲斐市議会決算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年10月29日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（19名）

委員長	五味武彦君	副委員長	松井豊君
	伊藤毅君		加藤敬徳君
	谷口和男君		清水和弘君
	横山洋介君		金丸幸司君
	滝川美幸君		金丸寛君
	赤澤厚君		小澤重則君
	清水正二君		斉藤芳夫君
	有泉庸一郎君		山本英俊君
	内藤久歳君		藤原正夫君
	保坂芳子君		

欠席委員（1名）

秋山照雄君

傍聴議員（1名）

議長 長谷部集君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	中込美智子

議題

1 平成31年度予算編成に向けての要望について

2 その他

開会 午前 9時57分

○書記（輿石文明君） 改めましておはようございます。

ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、委員長挨拶、五味委員長よろしくお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） おはようございます。

1カ月たちました。決算の審査からも1カ月ということで早いものです。きょうは最後の決算特別委員会ということで、短時間で終わると思いますけれども、引き続き慎重な審議よろしくお願いいたしますというふうに思います。

早速始めさせていただきたいと思います。

それでは、ただ今から決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

ただいまの出席委員は19名になります。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会といたします。

なお、秋山委員につきましては欠席の連絡がございました。報告いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

○委員長（五味武彦君） 本日は平成31年度予算編成に向けての要望について、各常任委員会より提出されたものを、決算審査特別委員会において協議を行います。その上で決定したいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、これより内容に入りたいと思います。

（1）平成31年度予算編成に向けての要望については、各常任委員会において取りまとめをしていただきました。各常任委員会の要望事項はお手元にお配りした要望書の2ページ、4ページのとおりでございます。

それでは、総務教育常任委員長より順次ご報告をお願いいたします。その後個々に協議していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、初めに滝川総務教育常任委員長より報告をお願いします。

滝川委員長。

○総務教育常任委員長（滝川美幸君） それでは、総務教育常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告にかえさせていただきます。

要望書の4ページをお願いいたします。

要望項目は、甲斐市魅力情報発信事業についてであります。

甲斐市の魅力を積極的に情報発信し、知名度を高め、移住定住の促進、特産物などの販路拡大及びふるさと納税推進のために、地方新聞などメディアを利用し、本市の魅力発進をさらに推進すべきである。

については、本市の施策や観光などの魅力をさらにPRするための広報事業などの予算措置を強く要望する。

以上であります。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） 報告が終わりました。

次に、山本厚生環境常任委員長より報告をお願いいたします。

山本委員長。

○厚生環境常任委員長（山本英俊君） おはようございます。

今回、厚生常任委員会のほうでは、4人からの要望がありましたが、厚生環境常任委員会でとりまとめた事業につきましては、朗読をもって説明にかえさせていただきます。

高齢者社会活動推進事業の推進について。

1、高齢者と子供の帰り道ふれあい事業の推進。

平成29年度は11校区、464人がボランティア活動を行ったが、毎年の予算がここ数年変わっていない。高齢化するボランティアの減少の心配される中、児童の登下校の事故も多発している。現状は高齢者にベストの支給、保険程度の予算のみである。また、来年度から敬老祝金の支給金額などが減額される。

については、活動資金の新規支給、市内温泉券配布、市内ふれあい事業参加についての指導や、組織づくりなど、支援策を要望する。

2として、老人クラブ活動補助金などの増額。市内の老人クラブの会員が年々減少している。

については、新規事業のための補助金、（去年は477万円）の増額、会員特典として、市内公共温泉や市民バスの利用割引券の配布などを検討することを要望いたします。

以上でございます。よろしくまたお願いいたします。

○委員長（五味武彦君） ありがとうございます。

次に、金丸建設経済常任委員長より報告をお願いします。

○建設経済常任委員長（金丸 寛君） それでは、建設経済常任委員会から、1点要望をさせていただきます。

マンホールトイレの計画的整備について。

マンホールトイレは、災害の際の避難所に必要不可欠なものであり、平成29年度に敷島南小学校、双葉西小学校へ設置され、平成30年度は玉幡中学校へ設置予定であり、下水道整備区域内の全避難所への早期設置が望まれます。

については、下水道管渠の耐震化及びマンホールトイレの整備について、計画的に実施するよう予算措置を要望する。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（五味武彦君） ありがとうございます。

以上で報告終わりました。

それでは、1項目ずつ質疑を行い、決定していきたいと思えます。

まず、1番目、甲斐市魅力情報発信事業について、ご意見がありましたらお願いいたします。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） この魅力発進事業についてですけれども、今既に、甲斐市のいろいろな情報について事業はしていると思うんですね。予算措置ということを考えると、新たに今、予算を措置するという意味合いにもとれるので、これは増額とか、そういう形でやっぱり強く言うということが必要ではないかということと、もう一点、地方新聞ってありますけれども、この地方新聞はどこをさすのかという。地方新聞といっても、信濃新聞もあれば東京新聞もあるということで、これ、地方新聞ということになれば、山日を限定して言っているのか、その辺のところ曖昧なので、新聞紙上等をとということで、広く、例えば読売とか朝日とか全国紙があるわけじゃないですか。そういうものも一応情報発信の部分として使うのかということも含めて、その辺のところはもう少しインパクトがある内容にしたほうがいいかなというふうには思います。

以上です。

○委員長（五味武彦君） 先に、じゃ、この項目についてのほかの委員のご意見あればお伺い

したいと思います。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） ほかにご意見がないようなので、内藤委員の意見、増額という項目が入っていないではないか。それから、地方新聞、これにこだわることはないんじゃないかという2点を指摘されました。これについて、文面こうしたらいいかということがあれば、お伺いしたいと思います。

1つは、地方新聞にこだわらず、新聞紙上などというふうな言い方をすれば、2つ目の質問はクリアできるかなと。それから、初めのほうの増額という文句がどこにも入っていないか、もうちょっと強くPRすべきではないかなという話がありましたので。一番最後の行ですね、広報事業などの予算増額措置という形でいかがですか。予算増額。

[「予算増のほうがいいかな」と呼ぶ者あり]

○委員長（五味武彦君） 予算のか。

繰り返しますね。3行目、地方新聞となっていますけれども、新聞紙上などに変更。それから、最後の行、広報事業などの予算の増額を強く要望するという形で皆さんいかがでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（五味武彦君） それでは、今ご説明させていただきました。お諮りをいたします。修正したとおりに、提出することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、甲斐市魅力情報発信事業については、修正した要望書のとおり提出することに決定をいたしました。

進めます。次に、2、高齢者社会活動推進事業の推進について、ご意見がありましたらお願いいたします。

[発言する者なし]

○委員長（五味武彦君） よろしいでしょうか。

それでは、高齢者社会活動推進事業の推進についてお諮りをいたします。要望書に記載のとおり提出することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、高齢者社会活動推進事業の推進については、要望書の記載のとおり提出することに決定いたしました。

次に、3番になります。マンホールトイレの計画的整備について、ご意見等ありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） いかがですか。

ないようですので、それでは、マンホールトイレの計画的整備についてお諮りをいたします。要望書に記載のとおり提出することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、マンホールトイレの計画的整備については、要望書に記載のとおり提出することに決定いたしました。

次に、1ページの前文について、協議をお願いしたいと思います。

事務局に朗読をお願いいたします。

興石係長、お願いします。

○書記（興石文明君） それでは、前文について朗読をさせていただきます。

1ページをお願いいたします。

甲斐市議会においては、昨年度に引き続き、決算審査特別委員会での審査をもとに「平成31年度予算編成に向けての要望書」を提出することとなりました。

平成29年度決算において、歳入では、地方交付税について、前年度と比較して0.2%の増となっておりますが、合併後の経過措置である激減緩和期間を経て、平成32年度には、本来の一本算定の額が交付されることとなり、減額が予想されています。

また、歳出では、人件費、扶助費、公債費など経常的経費が、前年度より3.0%増加しており、少子高齢化の進展などにより、今後の財政運営は一層厳しさを増すものと見込まれ、変化に対応した事業の取捨選択と整理統合により、計画的な事業の推進が必要となっております。

決算審査特別委員会では、決算審査等が出された意見を踏まえ、各常任委員会から提出された新年度予算への要望に対して、本委員会において意見の一致をみました3事業について、要望をさせていただくことといたしました。

については、本要望等を参考にいただき、より効果的な新年度予算編成に取り組まれる

ことを要望いたします。

甲斐市長、保坂武様

甲斐市議会、決算審査特別委員会委員長、五味武彦。

朗読は以上であります。

○委員長（五味武彦君） それでは、この前文についてご意見がありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（五味武彦君） それでは、前文についてお諮りいたします。要望書に記載の内容で
ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ご異議なしと認めます。

よって、前文については要望書の記載のとおり決定をいたしました。

なお、市長への要望書の提出については委員長一任でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） それでは、そのようにさせていただきます。

以上で平成31年度予算編成に向けての要望についてを終わりたいと思います。

先ほどの1の修正については、こちらのほうで事務局のほうで修正をいたして、提出したいというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

次に、（2）その他に入りたいと思います。

議長より何かありましたら。よろしいですか。

委員の皆さんから何かありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） 事務局から何かありましたらお願いいたします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（五味武彦君） ありませんか。以上でその他を終わります。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。12分で終わりました。ありがとうございました。

これをもちまして、決算審査特別委員会を閉会いたします。

9月の委員会も大分5時を回ることのなく、皆さんのご協力で済みました。今回も12分ということで、非常にご協力ありがとうございました。

それでは終わりたいと思います。ご苦労さまでした。

○副委員長（松井 豊君） ご起立願います。

相互に礼。

お疲れさまでした。

閉会 午前10時14分